

豊洲開場、28年11月上旬に

都、市場関係者 新市場建設協議会で合意

豊洲新市場の開場時期が平成28年11月上旬に決定した。17日に東京・築地市場講堂で開かれた第16回新市場建設協議会が都と市場関係者が合意した。合意で、業界からは28年の年末商戦に影響が出かねないとして反対の声が強かったものの、都は32年開催の東京五輪に向けた都市計画などの観点から、同時期が適宜と判断。業界側もこれを受け入れた。

東京都の岸本良一中央卸売市場長は、「業界内では年明けでなく、晴らしい新市場のため早くして安心した。新施設が完了した時点で、一体的に進めるのは難しいが、ソフト面の話は、11月10日までの間に進んでいなくても構わない」と述べ、業界との合意を決定してほし」と利用者を主体として話した。

東京五輪開場までに、市場関係者から、市場関係者への説明はなかつたが、都は開場時期と定めた期間の運用あたりは臨時的に決定して行つ可能性もあつて、

東京五輪開場までに、市場関係者から、市場関係者への説明はなかつたが、都は開場時期と定めた期間の運用あたりは臨時的に決定して行つ可能性もあつて、

日刊水産経済新聞

12月18日

日刊水産経済新聞 12月17日

食材の魅力、再確認 市場見学&仕入れ体験会 350人、理解を深める

【大阪】大阪市水産物卸協同組合は16日、大阪市中卸売市場本場で年末イベントとして「市場見学&仕入れ体験会」を開催した。このイベントは今年で12回目。当日は読売新聞の懸賞情報紙「よみうりゲン」の読者のみならず、大阪の台所・中央市場経由の食材の魅力再確認参加者約350人が来場していた。



大阪市水産物卸協同組合年末イベント

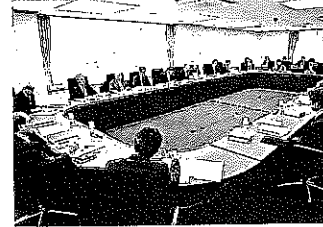
参加者は初めて水産物卸売場を自由に見学、仕入れ体験では仲間業者らに各水産物の産地や食べ方を聞いたり、数量や価格などの交渉にも臨んで、鮮魚やマシロアジ、カニなどのほか、干物、カツオ節や塩干加草の仕入れ体験も楽しんだ。

農水省

来年2月にとりまとめ

卸売市場流通の再構築検討会

農水省の「卸売市場流通の再構築に関する検討会」の第5回会合が、12日に開かれた。席上では、経営戦略、市場開拓の役割を踏まえ、卸売市場の再構築を進めるべきだ。来月下旬の会合で、策子案が提出され、2月の最終会合で検討会の報告...



12日に開かれた第5回会合

「ない。核心的な部分はほい」と実情を説明し、地方市場の統廃合に言及した。卸売市場協会（全卸）が「各県単位ではなく、広域で連携して今後の市場のあり方を検討すべき」と、行政が介入を求めないことを強調した。

野崎委員は、「ドバイが不足し、出荷市場の現状を説明し、物流拠点となる中央市場を建設してほしい」と注文をつけた。また、第3者販売を検討してほしいと主張した。第3者販売については、伊藤委員（全卸）が「第3者販売はあくまで例外的な措置」と位置づけ、「直荷引きとは本質的に異なる」と強調した。

食品市場新聞 12月15日

大阪中央市場本場 かつて、現協会の前身となった。市場協会の（植田孝理）文化連盟（当時）の主催で、展示品や頒布物がマニフェストとして別枠で、展示品もバラエティに富み、会場も広くとられ、市場のゆとり時代を表現していた。

中央市場新聞 12月12日

入場者など増える 賑わった大阪市場の合同展示。大阪中央市場本場 かつて、現協会の前身となった。市場協会の（植田孝理）文化連盟（当時）の主催で、展示品や頒布物がマニフェストとして別枠で、展示品もバラエティに富み、会場も広くとられ、市場のゆとり時代を表現していた。

豊田通商養成のクロマグロ

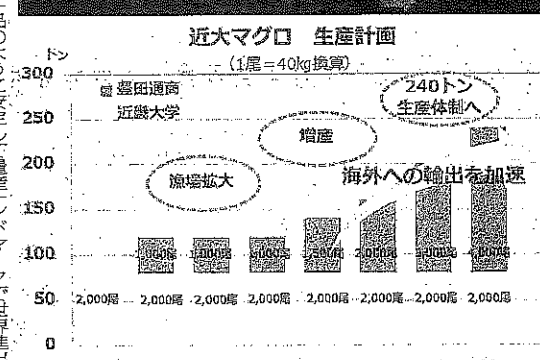
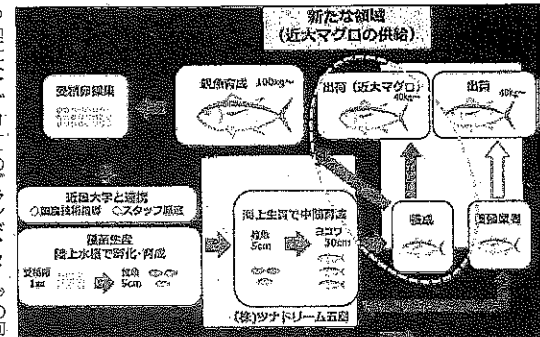
「近大マグロ」に認定

学校法人近畿大学は、豊田通商が養成したクロマグロを「近大マグロ」に認定する。近畿大学は2010年から豊田通商とクロマグロの中間育成事業において、業務提携し、世界初のマグロの養殖技術を継承する。技術面の指導もサポートしている。



このほど、近畿大学の指導の下、2010年から豊田通商が養成したクロマグロが高級魚であり、近畿大学直営料理店「近大マグロ」で実証したアンケート調査、高い評価を得た。近大マグロに認定する。近畿大学以外の施設で養殖されたクロマグロを「近大マグロ」に認定するのは、初めて。これにより、「近大マグロ」の供給量は、1.5倍に増加し、2020年には現在の3倍の供給量を目標とする。

展開するビジネスと近大マグロの生産計画



近大マグロの生産計画 (1尾=40kg換算) 豊田通商 近畿大学 240トン 生産体制へ。近畿大学が認定した「近大マグロ」の初出荷は、12月4日から、同店舗および1号店であるサンロード大阪店、認定された「近大マグロ」を販売するために使用したペンギンマークを、12月8日まで各日限定20食販売した。

食糧経済 12月12日